



鳥取県知事 平井 伸治 様

届出者 住所 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1

氏名 大山乳業農業協同組合
代表理事組合長 小前 孝夫
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

鳥取県地球温暖化対策条例第8条第5項（第9条第3項）の規定により次のとおり提出します。

住所（主たる事業所の所在地）	鳥取県東伯郡琴浦町保37-1									
氏名（名称及び代表者の氏名）	大山乳業農業協同組合 代表理事組合長 小前 孝夫									
主たる業種	09 食料品製造業									
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第1号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第2号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 鳥取県地球温暖化対策条例施行規則第4条第3号に該当する特定事業者 <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者									
計画期間	平成28年4月 / ~ 平成31年3月 /									
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （平成27）年度 / （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （平成30）年度 / （二酸化炭素換算）	増減率	報告年度（実績） （平成30）年度 / （二酸化炭素換算）	増減率				
	排出量（1）	14,289 t	13,860 t	△ 3.0 %	13,701 t	△ 4.1 %				
実績に対する自己評価	本所工場では空調機、冷凍機等の設備の更新時に効率の高い機器を導入するとともに、継続して蛍光灯もLED照明への機器更新を進めています。また改善活動にも取り組むことで、エネルギー使用量の削減を図り温室効果ガスの排出削減となりました。									
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率	報告年度（実績）	増減率			
	工場製造部門（本所工場）	二酸化炭素換算製造量	0.18153 t-co2/トン	0.17608 t-co2/トン	△ 3.0 %	0.20003 t-co2/トン	10.2 %			
	酪農指導部門（本所指導部門）	二酸化炭素換算床面積	0.09386 t-co2/m ²	0.09104 t-co2/m ²	△ 3.0 %	0.03137 t-co2/m ²	△ 66.6 %			
	小売り店舗部門（まきは）	二酸化炭素換算床面積	0.19006 t-co2/m ²	0.18436 t-co2/m ²	△ 3.0 %	0.16782 t-co2/m ²	△ 11.7 %			
		二酸化炭素換算	t-co2/m ²	t-co2/m ²	%	t-co2/m ²	%			
実績に対する自己評価	本所工場では、基準年度に比較して粉乳製造が約5%少なかったことと、アイスクリーム部門で製造重量当たりのエネルギー使用量が多い製品の製造が増えたことなどの要因で原単位が悪化してしまいました。今後さらに高効率機器の導入と省エネの啓蒙活動を行い目標達成に向け取り組みたいと考えています。									
寄与的取組	取組区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）					
		実数値		二酸化炭素換算の削減量	実数値		二酸化炭素換算の削減量			
	再生可能エネルギーの利用による電力又は熱の供給	（売電量）	kwh	t	（売電量）	kwh	t			
		（熱供給量）	GJ	t	（熱供給量）	GJ	t			
	再生可能エネルギーの利用による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入	（購入量）		t	-	-	t			
	森林保全による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入	-	-	t	-	-	t			
	電気、ガスその他のエネルギーの使用の合理化による二酸化炭素の排出削減の量等を表すもの購入	（購入量）		t	（購入量）	GJ	t			
削減量等合計（2）			0 t			t				
差引排出量（1） - （2）	基準年度（実績）	14,289.0 t	目標年度（計画）	13,860.0 t	増減率（計画）	△ 3.0 %	報告年度（実績）	13,701 t	増減率（実績）	△ 4.1 %
	推 進 体 制									
毎月の各部門の管理職クラスが集まる組合向上委員会時に環境に関する報告を行っている。また、大山乳業の3ヶ年毎の中期計画に各部門毎に環境及び省エネに関する計画を策定して、実施状況等の点検、評価等を実施している。また大山乳業が運用している食品安全システムのFSSC2000の事務局で環境に関する法律の変更動向を確認している。										

年度ごとの具体的な取組及び措置の計画	年度	設備、対象、工程等	内容
	平成27年度	工場製造部門	照明の点灯時間の長い箇所や再点灯までの時間が早いことが要求されることから順次照明をLEDに更新した。
	平成27年度	事務所	老朽化した空調機の更新時に広範囲の空調設備から区画毎の空調設備として空調負荷の低減を図った。
	平成28年度	冷凍庫冷凍機	設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。
	平成28年度	プロセス冷凍機	設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。
	平成29年度	冷凍庫冷凍機	設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。
	平成30年度	チルド冷凍機、冷蔵庫冷凍機	設備の更新時にエネルギー効率の高い機器を導入した。
地球温暖化対策に資する社会貢献活動			
特記事項			

- 注1 該当する口には、レ印を記入してください。
- 2 本計画書における温室効果ガス排出量は地球温暖化対策の推進に関する法律第21条の2第3項に規定する「温室効果ガス算定排出量」の算定方法と同様の方法により算定した量をいいます。
- 3 本計画書は鳥取県内における事業活動について記載してください。
- 4 主たる業種には、統計法（平成19年法律第53号）第2条第9項に規定する統計基準として定める日本標準産業分類のうち中分類を記入してください。
- 5 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。
- 6 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。
- 7 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用などを記入してください。